

第446回鉄鋼流通問題懇談会議事録

日 時 平成30年10月25日(水) 14時30分より
場 所 茅場町「鉄鋼会館4階」日本鉄鋼連盟・第1会議室
出 席 者 経済産業省 篠原課長補佐 中村係長
橋本会長(JFE スチール)

全国鉄鋼販売業連合会

会 長 阪上(清和鋼業)
常任理事 井上(明治鋼業) 山岸(東邦シャーリング) 森下(ダイサン)
早川(太田商事)
理 事 葛西(松栄)
メーカー 森安・南浦(JFE)
商 社 島津(伊藤忠丸紅鉄鋼) 小田(メタルワン) 笹本(岡谷鋼機) 中山(住友商事グローバル
メタルズ) 島尾(JFE商事) 間瀬(阪和興業) 南(兼松トレーディング) 持木(日鉄住
金物産) 上之園(エムエム建材)
鉄 連 上向井
事務局 五藤、内海

議 題 1. 全鉄連流通動態調査報告
2. 全鉄連情勢報告、地区別概況報告、阪上会長総括
3. 意見交換および商社品種別報告、メーカー報告
4. 経済産業省挨拶
5. 会長挨拶

配付資料 (1) 全鉄連流通動態調査結果表(平成30年9月分)
(2) 各地区業況アンケート10月調査結果
(3) 品種別報告、メーカー報告
(4) 鉄鋼需給推移表(平成30年9月1次速報)
(5) 普通鋼鋼材主要品種別生産推移表(平成30年9月1次速報)
(5) 全国市中鋼材数量調査(平成30年6月確報)

経 過

1. 流通動態調査報告

事務局より、配付資料に基づき、10月分の全鉄連流通動態調査結果について報告があった。別紙、流通動態調査結果(平成30年10月分)参照。

2. 全鉄連情勢報告

常任理事・理事より各地区の情勢報告、全鉄連事務局よりその他地区情勢報告があり、阪上会長が総括した。各地区の情勢報告は別添参照。

阪上会長総括

各地区の報告を受け、阪上会長が以下のとおり総括した。

需要環境は、建築、製造業とも全般的に堅調で10月に入り「秋需」が出ている。大手企業の下請けの製造業関係、流通加工とも非常に忙しい状況である。一方で1つは発注そのものが小口、短納期が多く効率よく仕事ができない。また残業強化や人員増ができないので加工量が増やせず、忙しい割にいまひとつ鉄鋼需要増に繋がっていない。価格においても流通間で強気になれず、なかなか価格転嫁のための値上げに踏み切れていないと報告した。

3. 意見交換

①商社・品種別概況報告

鋼管(伊藤忠丸紅鉄鋼・島津鋼管部第二課課長代行)薄板(岡谷鋼機・笹本鉄鋼第一部鋼板室プロジェクトリーダー)厚板(JFE商事・島尾厚板部厚板室副部長)棒鋼・形鋼(エムエム建材・上之藺条鋼営業部担当課長)の5品種について概況報告が行われた。報告内容は別添資料を参照。

②メーカー報告

高炉(JFEスチール・南浦営業総括室課長)より、最近の景況感などについて報告が行われた。報告内容は別添「メーカー報告」を参照。

4. 経済産業省挨拶(篠原課長補佐)

需要は堅調だが、なかなか堅調さを実感できないという発言があった。そのような話も参考にしながら、今後、需要見通しを立てていきたい。日米首脳会談での自動車輸入制限や米中摩擦で中国の陰り、中国の鉄鋼過剰供給などの問題がある。国内では臨時国会において災害復興中心の補正予算が組まれている。日本の脆弱さがここへきて露に出ている。国土強靱化法の見直しも検討している。外国人労働者の問題。人材不足の解決になるのかどうか。1年後の消費税増税の駆け込み需要もある。鉄鋼業界は安定供給が求められる産業である。成長戦略としてパイを増やす方法はあるが、鉄鋼業界の体質からいうと一定のパイを割り当てるとするのは非常に難しい。マインドを大切に、皆様のご意見を伺いながら、金属課で議論し検討していきたい。

5. 橋本会長挨拶

橋本会長より概略以下のとおり挨拶があった。

鋼材需給について3ヶ月前より変化したのは厚板、コラムが動きだした。大型物件、オリンピック関連の物件等が動きだすなどいい材料が出てきた。今後、タイト感はますます出てくるだろう。他方、薄板3品在庫が増えた点については、台風などの影響で出荷やユーザーの製造が滞ったことが原因であるとの見方でした。今後の需給を見てきっちり対応していきたい。

※次回の会合予定

平成31年1月21日(月)午後2時30分より茅場町「鉄鋼会館4階・日本鉄鋼連盟第1会議室」

以上